

那覇市立宇栄原小学校校内研修

研究テーマ：主体的に取り組む児童の育成

～ 聴きあい 学びあい 支え合う授業づくりを通して ～

(1) 単元名： 合同な図形

(2) 本時の目標： 三角形の3つの角の大きさの和が180度になるとともに、四角形の4つの角の大きさの和の求め方を考えることができる。



先週の金城小に続き今週も那覇市の学校である。こちらも「学び合い・支え合う学校創り」への挑戦2年目である。

2枚の写真授業前の教室の風景、実に和やかで、子ども達が安心してくつろいでいる。どの子を見ても表情がいい、男女間の隔たりもなく笑顔で対話が交わされている。私も授業を見させていただくことが楽しいみとなる。



[問題提示、めあてを立てる]：本時は少人数加配教諭 M 先生との T・T による授業である。

写真1、担任の I 先生（男子）が T1 で、加配の M 先生が T2 として授業を進行する。2人の教師の呼吸が大切になってくる。授業は前時の三角形の内角の和をシンプルに確認し、さっそく本時の学習課題に入った。本日、近隣校からの参加もあったが、どうも教師が座っていることにすでに違和感があるようだった。

写真①、本時の学習のめあてを書く、T1 が声で読み上げて子ども達は「聞き書き」である。

学習規律が一人ひとりに確実に行き届いている。書き終えるタイミングもほぼ同じである。素晴らしい。模倣するべし！



写真①



写真②



写真③

[四角形の内角の和を求める] 4つの角を切り取って頂点を合わせる。



写真④



写真⑤



写真⑥

写真④、四角形の4つの頂点を切り合わせて角の和を確かめる。写真⑤、ここでも訊き合う、勢いよく前には出たが、やっぱりちょっと自信がないので隣の仲間に確かめる。よくある風景です。ぜひ寛容に受け止めてください。写真⑥、丁寧に仕上げようとする女の子、見守る教師と仲間の視線を背中に浴びる支え合うは行為や言葉だけでなく目線が支えることをわかってほしい。写真⑦、T1 と T2 の「あうん」の呼吸がある、だれがどこまで…教師互いの目線のやり取りが子どもたちの学びを深めたり、広めたり、加速させる。教師の事前の打ち合わせの視点が大切になってくる、教師の側の教えやすい都合のすり合わせでなく、子ども達の学びの深まりの論点で対話を進めてほしい。

写真⑧⑨、仲間の発言を支える仲間の眼差しである。この目線が向けられるクラスは、誰でも居心地の良さを感じる。教室が一番安心して居られるところ。学校に行けば仲間がいるから大丈夫。…素敵なクラス！



写真⑦



写真⑧



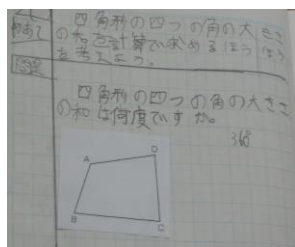
写真⑨

[四角形の内角の和を計算で求める方法を考える]



写真①

4つの頂点を合わせることで360°になることが分かった。授業者から次の課題が下ろされる。授業者：写真①の四角形の内角の和が360°であることを計算で求めたり、三角形の内角の和を使って説明しなさい。



[対角線を使って2つの三角形と考える]

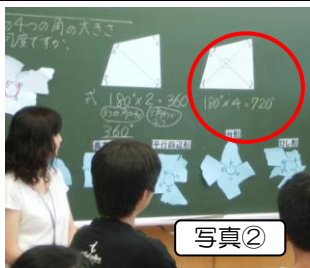
写真②、2例の解が取り上げられた。2つの三角形と4つの三角形ができてしまった。

おもしろい、「720°ではおかしい？」では、何が間違っているんだろう？

$$180 \times 4 = 720 \quad 720 - 360 = 360$$

2つの対角線の交わる所の角度は四角形の頂点とは関係ないことに気付く。

写真③、食い入るように見つめる仲間の眼差しを大切にしたい。…「わかりたい」のである。

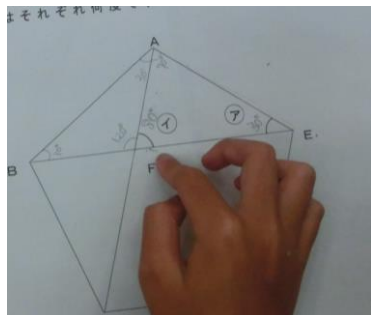


写真②



写真③

[ジャンプ問題] 五角形の中にできる三角形②、①の角度を求めなさい。



おもしろい(難しい)問題が提供された。子ども達の学習意欲(「わかりたい」)をかきたてる。右の写真、問題は各グループに1枚のプリントを配布しみんなで頭をつき寄せて考える。小さい声でも聴こえる。一人の気づきや考えをみんなで共有できる。どのグループもブツブツ・ボソボソ「学び合い」が交わされる。学びの共同体の理念である「一人残らずに…」こだわっている。素晴らしい!

教室中にブツブツ・ボソボソが響きわたる。なかなか言葉を発しない男の子を1人確認したが、視線は常に仲間の対話に向けられていてやり取りを伺っていた。支援の手を差し伸べたい。子どもを決して一人にしない。

教師のケアは、こういう子に向けられる。仲間につないであげる。

40名近いクラスで

一人残らずを達成することは簡単ではない。しかし、挑戦し続けてほしい・・・この子達のために!



[研究協議会]

一学期の各先生方の「学び」についてリフレクションしてもらった(学びチェックシート)。

私からは、「正直に本音で語ってください。」の一言だけ。

教室に学び合いを成立させるのは簡単ではない。教師も本音で語ることが肝心になってくる。写真④難しいことを笑顔で

語れる空気を大切にしたい。写真⑤、グループ協議の様子を見守る難しい顔をした校長先生です。職員の皆さん「さみしい・厳しい校長先生」にはしたくないですね。校長先生の話も聴いてあげてください。

先生、M先生素敵な授業ありがとうございました。授業からの学びも多く、さらに、研究協議の深まりもよかったです。宇栄原小のベクトルが「子ども達のために・・・」向けられることに安心します。本日の授業！先生の静かなテンションと、M先生との洗練された呼吸が子ども達をより深く「学び」へ案内してくれました。・・・本当にありがとうございました。感謝！



写真④



写真⑤